

小学生向け

## 読書体験を深める 読書推せん文ワークショップ 実践ガイド

# 写真と言葉で本の魅力を伝える 「本の魅力可視化」プログラム



博報堂教育財団では、子どもたちが自分のお気に入りの本の魅力を、おすすめしたい人に向けて自分の言葉で紹介する「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」を開催しています。

2026年からは、コンクールの団体賞に入賞した学校・団体を対象に、読書の楽しさをより深めてもらう「読書体験を深める 読書推せん文ワークショップ」を開催しています。本ガイドはこのワークショップを学校・団体でも実践していただくための指導者向け資料です。是非ご活用ください。

# 小学生向けプログラムへの想い



読書推せん文に取り組んだ児童・生徒の皆さんに、もっと本に親しんでほしいという想いから、このワークショップを企画しました。  
このガイドを活用して学校・団体でも実践いただき、本との新しい出会い方を発見したり、人を想う気持ちの大切さを学ぶ場にしていただければと思います。  
博報堂教育財団 常務理事 石寺修三



コンクールで読んだ本から1冊を選び、子どもたちが学校中を探検しながら、その本のテーマに合う場所で写真を撮るワークショップです。  
誰かに推せんする方法は文章だけではないと気づくことで、ほかの教科や日常の場面にも生かしてほしいと考えています。  
学習環境デザイナー 山内佑輔

## ワークショップ下準備と方向性



座学とフィールドワークが含まれるプログラムです。両方が行える場所を選定し、動きやすい服装で取り組めるよう事前に児童への告知を。



児童たちに質問をされた場合、このプログラムには正解がないので指導者として自分ならこう思うよ、といった一つの意見として声をかけましょう。



ピクトグラムはWeb上で無料配布されているデータが多数あります。好みのものをダウンロードして使用してみましょう。



実施して終わりにならないよう、フィードバックの時間も設けましょう。



本内容を体験してもらった石巻市立石巻小学校での様子をホームページでも紹介しています。詳しくはURL・二次元コードよりご参照ください。

URL:<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/okiniiri/workshop/>

問い合わせ:

お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール事務局

TEL:0120-564-772 受付時間:9:00~17:00(土日祝・年末年始を除く)

※お問い合わせは学校ではなく、事務局へお願いいたします

# ワークショップの進行

コンクールで読んだ本の感想を共有したあと、1冊を選び、その本のテーマに合う場所で写真を撮影し、全体で発表し合います。



## ピクトグラムの擬人化ワーク (5～10分)

緊張をほぐして表現へのハードルを下げるため、ピクトグラムを机の上に立たせたり、本のふちに座らせてみたり、仲間と相談しながらピクトグラムに合う場所を自由に探していく。

通常固定されたものを動かすことで発想力を向上させる。



## 本のテーマに合う場所を探す 撮影ワーク①(20分)

3～4人で1グループを作り、それぞれが持参した本と事前に作成した読書推せん文を紹介しあい、本の理解を深める。

それぞれ選んだものに対しての想いを共有、共感することで1つの目的に向けた行動促進にもつながる。



グループで1冊を選び、本のテーマに合う場所・この本を置いたら良い場所はどこかという視点で話し合う。

## 場所選びの指導ポイント

- ・本の内容やテーマを表現できる場所を選ぶ・主役は本。本が一番目立つ場所を考える
- ・最後に発表があるので、「なぜこの場所か」を説明できる場所にする

児童から相談が出た場合には、下記のような連動するものを伝えて思考を広げるサポートを行う(自然や冒険のお話⇒校庭・木の近く、料理や食べ物のお話⇒家庭科室など)



## 本のテーマに合う場所を探す 撮影ワーク②(20分)

選んだ本の内容や世界観をもとに、「本のテーマに合う場所はどこか」話し合ったあと、撮影できるタブレットなどを持って校内・校庭へ探検に出る。

実際に本を置いてみたり、見る角度を変えたりしながら向きや位置を工夫し本の魅力と自分の想いが伝わる写真を撮影する。



タブレット端末など撮影できるものを用意しましょう。合わせて発表用のモニターなどもご用意ください。



## 写真を用いたプレゼンテーション (20～50分)

撮影した写真を全体で共有し、なぜその場所を選んだのか、本を理解しどんな想いを持って何を伝えたいのかをグループでまとめ、発表をする。

自分たちの考えを伝えるとともに、他のグループの多様な視点にも触れながら学びを深める。



発表したチームへ大きな拍手を送るよう、児童たちへ伝えてください。

## 学習指導要領との関連

小学校学習指導要領(国語)では、言語活動を通して自己の考えを形成し、表現する力の育成を重視しています。

本ワークショップでは、読書推せん文の題材とした本のテーマを伝える力を養うとともに、グループで本にふさわしい場所を考え、タブレット端末等で撮影する活動を取り入れています。本の内容を多面的に捉え、対話を通して考えを深めながら、言葉と写真の両面で表現することで、主体的・対話的で深い学びや情報活用能力の育成につながる内容となっています。

# 児童の言語形成、表現育成に向けたワークショップ実施後アンケート例

## 【児童】

### Q:ワークショップは自分のためになったか？

- 楽しみながら勉強になって自分のためになったと感じた
- 相手も自分も分かりやすい話し方を学べた
- 読書推せん文のヒントのような物になってよかった
- 今度本を選ぶ時の参考になりました

### Q:相手に気持ちを伝えることや、言葉を選ぶことの「面白さ」や「むずかしさ」に気づきましたか？

- 相手の反応が面白い
- 気持ちを伝えるのがむずかしいけど、楽しいと思った
- その言葉に合わせ表現したり面白さを出せば楽しくできる

### Q:またこのようなワークショップがあれば参加したいですか？

- どんどん新しい挑戦に取り組みたい
- はい、またみじかにある物のすごさを知りたいです
- ワークショップでもっと知りたいことがあるから参加したい
- またいろんなことを知りたい

## 【教員】

### Q:子どもたちが有意義に過ごし、内容に関して対象学年に合っていたかどうか。

- 満足

### Q:一般的な国語・表現アプローチの授業と比較し、今回のワークショップをどう感じたか。

- 他社教材と比べて独自の価値を感じた
- 活動後も子どもたちから楽しかったという声が聞かれた